

〔執筆者紹介〕（掲載順）

西村 芳将（にしむらよしまさ） 鳥取県文化政策課課長補佐  
伊藤 康（いとう やすし） 公文書館総括専門員  
田中やよい（たなか やよい） 公文書館専門員  
杉原 幹雄（すぎはらみきお） 有限会社地域未来代表

〔編集後記〕

第八号を刊行する運びとなった。第七号より隔年として  
いるので、二年ぶりの刊行である。まずは、依頼原稿となっ  
た二本について簡単に紹介しておく。

巻頭の論文は、当館が所蔵する公文書の行政利用のあり  
様について、職員アンケートを元に分析したものである。  
執筆者の西村氏は、当館職員として公文書管理条例施行（平  
成二四年四月）を担った。その経験が存分に生かされた論  
考となった。

杉原氏には、「まちづくり」に長年関わってこられた立  
場から、歴史文化の利活用についての事例を報告いただい  
た。歴史文化に「現代的な価値を付加して補強する」とい  
う言葉は至当で、当館も、地域の振興に少しでも寄与でき  
るような取組みが必要なことを改めて感じた。杉原氏には、

平成二五年九月一二、一三日に、米子市立図書館と共催し  
た巡回講座の講師を務めていただいた。今回の原稿はその  
報告をもとにしたものである。

残る二本は職員の手によるものである。この内、田中原  
稿は、鳥取大震災について特に新聞を読み直すことで、犠  
牲者の詳細、報道の有り様についての新知見を提示した。

最後に、多忙な中ご寄稿いただいた西村氏、杉原氏にお  
礼申し上げますと共に、読者諸賢のご高覧をお願いいたしま  
す。

（二四・二 伊藤ヤ）

鳥取県立公文書館研究紀要 第八号

平成二六（二〇一四）年三月二八日 発行

編集・発行 鳥取県立公文書館

〒六八〇一〇〇一七

鳥取市尚徳町一〇一

TEL 〇八五七一一六―八二六〇

印刷 有限会社 蛍光社